

進路通信

兵庫県立北須磨高等学校 進路指導部

【模試の活用】

明日明後日は3年次の初回の模試です。模試の利用法についてはすでにいろいろなところで聞いていると思いますが、卒業生からのアドバイスもふくめ整理しておきます。

①受験時間をめいっぱい使う

中間考查中の教室の注意書きの中に「寝ない」と書かれてあるクラスがありました。模試は練習試合のようなもの。練習試合でできることを精一杯やらないと本番の大会には役に立ちません。模試の受験中に緊張が切れて寝てしまうのは、練習試合で寝るのと同じ。本番は推して知るべしです。

与えられた受験時間をめいっぱい使うのは、慣れないと結構難しいことなのです。普段からこのための訓練を重ねなければ、身に着けた学力を有効に発揮することはできません。

模試は適当にしておいて本番で合格できると思う人は、部活動でもそれを実践しているのでしょうか。

②「模試は間違った問題にお金を払っている」

これは某予備校関係者の言です。模試の目的の一つは自分のできなかった科目、分野、弱点を明らかにし、その対策を立てることです。そのためには復習が欠かせません。少なくとも3回(受験当日、自己採点后、成績返却時に)問題を解き直しましょう。決して安くはない受験料ですから、模試の問題は使い倒して下さい。48回生からのアドバイスです。

・どの問題をクリアすべきだったかを明らかにするようにした。基礎が不十分なところや苦手科目でのケアレスミスを補っていくようにした。返却された結果を見て、分野別に弱点を補強していくように心がけた。

判定	模試(月)				
	6	7	9	10	11
A	0	4	10	6	6
B	5	5	10	10	12
C	17	21	20	10	20
D	27	25	29	23	32
E	92	64	71	69	71

③判定はオマケ

上の表は第1志望を貫徹した48回生の、模試での第1志望の判定結果の推移です。6月にはA判定は一人もおらず最後の11月回でも85%以上の人がC以下です。D判定またはE判定がつく人はどの回でも70%を上回っていました。また、個人の判定の推移の例を下の表にあげます。

「お」さんは比較的良好な判定が並んでいます(非常に珍しいことです)が、たいがいの人は他の5人のような推移です。もちろん6人とも第1志望に合格しました。ふたたび48回生のアドバイスです。

月	6	7	9	10	11
あ	E	E	E	E	E
い	E	B	C	B	C
う	D	C	B	D	C
え	D	B	A	B	C
お	B	A	A	A	A
か	C	C	D	B	E

・あくまで「模試は模試」。判定は気にしない。やり直しは受験直後にできなかった問題に付箋をつけておいて1週間後に解き直す。

・判定にとらわれると気落ちする。判定は自分の立ち位置の確認と思って。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Member of
UNESCO
Associated
Schools

